

**研究課題：**脳腫瘍の発生・進展に關与する遺伝子変異・多型・発現様式に關する研究、および病理診断のための分子遺伝学的解析

## 1. 研究の目的

患者様の病気や病気の進行度などを診断するといった診療上の必要性から、生検、手術、または病理解剖によって摘出された臓器・組織や、細胞診検査のために採取された細胞は、病理学を専門とする部門（病院病理部、病理学研究室）に提出され、パラフィンブロックやプレパラート標本が作製されています。これらの病理検体は病理診断や病理業務の精度管理に用いるだけでなく、医学研究にも使用させていただいております。本研究は、病理残余検体を用いて、特に脳腫瘍の遺伝子解析を行う事で、その発生、進展に關する研究を行う事が目的です。

## 2. 研究の方法

臨床情報の解析を行い、疾患の特徴や治療や予後の状況を明らかにします。病理所見や遺伝子解析など分子生物学的解析を行い新たな診断方法や分類、治療方法の開発に役立つような特徴を明らかにします。遺伝子解析には遺伝子変異解析、カスタムパネルでの変異解析、DNA メチル化解析、RNA シークエンス、コピー数解析などが含まれます。

病理検体とそれに関連した医療情報を医学研究のため使用させていただく場合は、氏名・生年月日などの個人を特定しうる情報を切り離し、それに代わる符号をつけて匿名化するという形式でお取り扱いをさせていただきます。

## 3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日～西暦 2027年 3月 31日まで。

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

画像検査結果、カルテの記載から、病理診断、臨床経過に關わる事柄を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。遺伝子解析は、病理診断で用いた試料の残余検体を用いて行われます。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

## 6. 研究組織

主たる研究機関及び研究責任者：

群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野 教授 横尾 英明

当院における研究責任者、研究分担者

研究責任者：血液腫瘍科 医長 福岡 講平

研究分担者：臨床研究部 部長 中澤 温子

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）